



あんせん
安全

(健康な心と体)

教育・保育目標

“心身ともに健やかなこども”

げんきなからだ
やさしいところ
がんばるちから

しぜん
自然

(深い感動と豊かな感性)

せきぜん
積善

(豊かな人間性と道徳性)

松陽こども園の教育・保育

松陽こども園では、教育・保育方針に『三つのゼン(安全・自然・積善)』を掲げています。子どもたちが健康・安全で情緒の安定した生活が出来るように心の土台を育む(安全)、本物の自然に触れ、深い感動と豊かな感性を育てる(自然)、善悪の判断等という道徳性の芽生え(積善)を育むことにより、教育・保育目標の『心身ともに健やかな子ども』の育成へと繋げていきます。

地域の皆さまこんにちは。園庭では、セミの鳴き声が飛び交い、子どもたちは、虫とり、水遊び、泥遊びと夏の遊びを存分に満喫しています。地域の皆さまにはいつも本園に対してご理解とご協力をいただきありがとうございます。昨年、松陽こども園の屋上に設置しました太陽光発電(ソーラーパネル)が、6月よりようやく利用できるようになりました。子どもたちは、屋上に上がってパネルを見たり、作られる電力量をモニターで知るなどして電気に関心を深めています。地球の資源を大切にすることを今一度子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。

毎年お世話になっている竹本さんご協力の元
今年も園庭に夏野菜を植えました!

今年は、年長、年中組の子どもたちが実際にお店へ行き、欲しい苗を買いに行きました。でも、年齢によって目的や買い物の様子が少し違ったようです。

年中組(4歳児)

子どもたちは『買い物=財布がある』と思ったようで、「お金持っていないかなん」「お財布いるね」と言う声が次々に聞かれました。そこで自分たちでお金やお財布を作ることにしました。「いっぱい買わなんし、お金いっぱい作らんなんね!」と友だちと話をしながら、お買い物に行くことに期待を膨らませていました。実際にお店へ行き、様々な苗を見て選んだり、何をかうのか指折りながら確認したりしていました。レジでは自分たちで作ったお金を嬉しそうに渡していました。(実際は、保育教諭がお金を払ってきました。)



自分たちで買いに行った苗ということもあるのか、大切に育てている姿が見られました。子ども達にとって身近な園庭に畑があり、野菜の生長の様子を間近に見ることが出来、「早く大きくならんかな」「虫さん葉っぱ食べんといいてね」「早く食べたいな〜」等と水やりしながら育ててきました。そして今は収穫の時期を迎えています。

年長組(5歳児)

時期により、無い苗があり、「メロンほいのにないって言われた!」と、残念がる声も聞かれました。その声を聞いたお店の方が、「今の時期ないんだよ。メロンって育てるのがすごく難しいんだよ。」と教えてくれ、子どもたちは「え! そうなん! メロンずっとあるとおもった! 食べたかったな」と驚いた様子でした。又、一つの野菜でもたくさんの品種があり、「トゲトゲないのがいい!」など子どもたちでどの苗がいいか、声を出し合い選んでいました。



おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとう

七夕の飾りつけ&祖父母参観でした



おばあちゃん大好き♡



ミルク飲めるかな?

大好きなおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に七夕の会に参加し、「たなばた」の歌を唄ったり、短冊の飾りつけをしたりしました。各保育室では、祖父母の方と触れ合って遊ぶ保育参観がありました。未満児クラスでは、オムツ替えの様子を見て頂いたり、おやつでの介助をしていただいたりして、ゆったりと関わって過ごすことが出来ました。また年長組では、祖父母の方に日頃遊んでいることや得意なことを披露したいという子どもの声が聞かれたため、当日までに子どもたちでどんなことを見せたいのか、どんな風に進めていくのかなどを何度も話し合いました。当日は自分たちで考えたことを自信満々に披露し、祖父母の方に喜んでもらえる満足そうな姿が見られました。祖父母の方は、そんな一生懸命な子どもたちの姿や当日を迎えるまでの過程を知り、驚かれる方や感動される方もいらっしゃって、とてもほほえましい保育参観となりました。



お膝に座って楽しいね★



<園外給食> 外で食べる給食はおいしいね!

年中・年長組の子どもたちは、春や秋の気持ちの良い季節に戸外へ出かけて給食を食べる機会を設けています。給食室で作ってもらったごちそうをトレーにのせて、春は桜の木の下でお花見をしたり、初夏は新緑の下で風に揺られる木々の音を聞いたりして食事をします。戸外なので涼しいそよ風や温かい太陽の日差しを十分に感じながら食事を楽しむことができます。広々とした芝生の上で食べる給食は、格別なようで「おいしいね〜」「今日は、ブロッコリーが入ってるよ!」と子ども同士の会話も自然と盛り上がります。そして、笑顔いっぱい美味しくほおぼる姿や意欲的に食べる姿も見られます。今後も、季節に応じて戸外の自然を十分に感じながら、園外給食を楽しみたいと思います。

美味しいなあ! 外の給食は、格別★



木漏れ日が気持ちいいなあ♪



自然と笑顔があふれにぎやかです♪

自然に触れてたくさんの感動体験を...

教育保育方針の一つである『自然』では、子どもたちが本物の自然に触れる中で、深い感動と豊かな感性を育みます。子ども一人一人の個性も『自然』です。子どもが自ら環境に関わり、「もっと知りたい」「こんな風にしてみたい」と意欲的・主体的に活動しています。

身近な自然との出会いを大切に...

自然に触れ合う中で、子ども達は様々な物に興味関心を持ち、「これはなんだろう?」「こうしたらどうなるかな?」と、発見をしたり考えたりしています。保育者は子どもと同じ目線に立ち、その驚きや喜びに寄り添い、共感しながら豊かな感性を育む事を大切にしています。そして、子ども達が意欲的に自然と触れ合いながらのびのびと過ごせるように環境を整えています。



どうしたら、捕まえられるかな?



オタマジャクシを掘りだす?



ねえ、先生! 小さいトンボがおるよ! 見たことないのがある!



ほしほし... 虫おらんかな?



すごい! 虫捕まえたの! 私にも見せて!



おひさまが暖かくて眠たくなっちゃった...



雨粒が頭に当たった! つめたい!



この葉っぱはななどう? 触ってみようかな?



ウオーターマットはひんやりしていい気持ち!



ポツポツ... 傘に雨が落ちてきた!



砂の上って冷たくて気持ちいい!